



## 2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社ピアズ  
 コード番号 7066 URL <https://peers.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑野 隆司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部部長 (氏名) 栗田 智代  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
 TEL 03-6811-2211

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	4,186	72.7	370	-	262	-	252	-	336	-
2022年9月期第3四半期	2,423	1.5	33	△84.3	△32	-	△14	-	△1	-

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 336百万円 (—%) 2022年9月期第3四半期 △1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	36.97	35.14
2022年9月期第3四半期	△0.20	—

- (注) 1. 2023年9月期第3四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年9月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。  
 2. 当社は、2023年7月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。  
 3. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれんの償却額

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	4,486	2,265	50.5
2022年9月期	4,400	1,921	43.6

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 2,264百万円 2022年9月期 1,920百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	2.72	2.72
2023年9月期	—	0.00	—		
2023年9月期(予想)				12.72 ～13.82	12.72 ～13.82

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2023年7月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年9月期の配当金については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しており、2023年9月期(予想)の配当金については、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 2023年 9月期の連結業績予想(2022年10月 1日～2023年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,705	50.4	530	207.3	372	575.2	344	380.5	480	-	52.81
	～7,080	～86.6	～544	～215.2	～419	～661.8	～392	～447.1	～522		～57.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)1. 当社は、2023年7月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、株式分割後の金額を表示しております。

2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれんの償却額

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

特定子会社の異動に該当ませんが、当第2四半期連結会計期間において、XERO株式会社の全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期3Q	9,647,400 株	2022年9月期	9,499,400 株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	432,420 株	2022年9月期	432,420 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期3Q	9,104,247 株	2022年9月期3Q	9,280,790 株

(注) 当社は、2023年7月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、P3(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合関係)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

2022年6月1日に行われた株式会社ウィルの株式取得による企業結合において暫定的な会計処理を行ってまいりましたが、当第3四半期連結会計期間に確定したため、前連結会計年度との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症予防を目的とした行動規制が徐々に緩和され、5月には感染症法上の分類において5類に移行されるなど、社会全体でアフターコロナに向けた動きが加速したことで、国内経済は緩やかに回復の兆しをみせております。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、円安などを背景とするエネルギー資源価格の高騰、物価上昇など、引き続き、経済の先行きは不透明な状況が続いております。

そのような中、当社グループは、「いつかの未来を、いつもの日々に～New Normal Acceleration」をコンセプトに掲げ、新たなモノ・コトを積極的に活用していくための活動を社会に広げていくことに取り組んでおります。当社は設立以来、通信業界をメインステージに事業を展開してまいりましたが、既存のビジネス領域からオンライン接客を中心に領域拡大を行い、先行投資を行うことで、中長期的な成長に向けた事業ポートフォリオの強化を行っております。

当連結会計年度においては、オンライン接客センターなどの店舗DX領域の拡大推進に取り組み、その結果、店頭に設置したタブレット端末を通じてお客様とオンライン上で非対面型の接客を行う、オンライン接客サービスの需要が継続的に増加し、売上及び利益の増加に貢献いたしました。

また、コロナ禍において進めていたグループ全体でのコスト削減への取組みも寄与し、利益が増加いたしました。事業進捗としては、chatGPTを活用したAIによるロールプレイングサービス”mimik”の新機能の開発が進み、クライアントへの導入トライアルなども推進いたしました。

さらに、昨年度に立ち上げたCVC（コーポレートベンチャーキャピタル）事業にも積極的に取り組み、アパレルに特化したAI・DXプラットフォームであるL-DX社や、生成AIや量子コンピューティングを取り扱うKandaQuantum社との資本業務提携を実施いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,186百万円（前年同期比72.7%増/前年同期は売上高2,423百万円）、営業利益262百万円（前年同期は営業損失32百万円）、経常利益252百万円（前年同期は経常損失14百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は336百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1百万円）となりました。

なお、当社グループはコンサルティング事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

#### （流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ133百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が141百万円増加した一方、売掛金が191百万円、電子記録債権が17百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### （固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,284百万円となり、前連結会計年度末に比べ219百万円増加いたしました。これは、主に投資有価証券が129百万円、長期貸付金が156百万円増加したことによるものであります。

#### （流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,234百万円となり、前連結会計年度末に比べ119百万円減少いたしました。これは、主に1年以内返済予定の長期借入金が140百万円、未払金が26百万円減少したことによるものであります。

#### （固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は986百万円となり、前連結会計年度末に比べ138百万円減少いたしました。これは、主に長期借入金が93百万円、リース債務が36百万円減少したことによるものであります。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,265百万円となり、前連結会計年度末に比べ344百万円増加い

たしました。これは、主に利益剰余金が324百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績予想につきましては、現時点では2023年5月8日に公表いたしました業績予想から修正はありません。

なお、当該業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、発表日現在においては2023年9月期中、新型コロナウイルス感染症が一定程度落ち着くものと仮定して作成したものであり、同感染症の再拡大により業績予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,345,979	2,487,531
売掛金	756,888	565,072
契約資産	2,269	2,721
電子記録債権	53,349	36,205
商品及び製品	31,736	39,597
原材料	3,841	3,641
その他	155,795	91,644
貸倒引当金	△14,747	△24,330
流動資産合計	3,335,113	3,202,082
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	149,377	195,497
工具、器具及び備品（純額）	26,223	12,968
リース資産（純額）	143,541	102,981
その他（純額）	698	435
有形固定資産合計	319,839	311,883
無形固定資産		
ソフトウェア	128,560	156,579
のれん	233,668	201,618
顧客関連資産	115,541	110,010
その他	47	5,789
無形固定資産合計	477,817	473,998
投資その他の資産		
投資有価証券	83,980	213,283
長期貸付金	13,992	170,515
繰延税金資産	57,331	138,359
敷金	65,223	64,397
保険積立金	32,986	35,902
その他	28,087	10,332
貸倒引当金	△13,992	△134,170
投資その他の資産合計	267,609	498,619
固定資産合計	1,065,266	1,284,502
資産合計	4,400,379	4,486,585
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	241,840	258,537
1年内返済予定の長期借入金	773,000	632,600
未払金	82,772	55,836
未払費用	158,315	142,547
リース債務	29,114	23,994
未払法人税等	3,764	2,294
預り金	22,729	11,658
賞与引当金	3,520	12,536
その他	39,628	94,864
流動負債合計	1,354,687	1,234,868
固定負債		
長期借入金	935,000	841,750
リース債務	131,508	94,528
繰延税金負債	39,295	37,362
その他	18,620	12,746
固定負債合計	1,124,424	986,387
負債合計	2,479,112	2,221,256

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	109,901
資本剰余金	830,471	840,372
利益剰余金	1,169,121	1,493,357
自己株式	△179,078	△179,078
株主資本合計	1,920,514	2,264,551
新株予約権	753	777
非支配株主持分	-	-
純資産合計	1,921,267	2,265,328
負債純資産合計	4,400,379	4,486,585



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,423,982	4,186,760
売上原価	1,831,250	3,058,239
売上総利益	592,731	1,128,521
販売費及び一般管理費	625,702	866,154
営業利益又は営業損失(△)	△32,971	262,366
営業外収益		
受取利息	504	2,482
助成金収入	14,486	3,670
貸倒引当金戻入額	5,247	4,664
為替差益	10,269	184
暗号資産評価益	1,521	-
投資事業組合運用益	-	4,271
その他	739	4,650
営業外収益合計	32,768	19,923
営業外費用		
支払利息	9,665	26,322
投資事業組合運用損	3,780	-
その他	1,210	3,020
営業外費用合計	14,657	29,342
経常利益又は経常損失(△)	△14,859	252,947
特別利益		
リース解約益	-	3,854
関係会社株式売却益	461	135,632
新株予約権戻入益	3	-
負ののれん発生益	60,623	-
特別利益合計	61,087	139,487
特別損失		
投資有価証券評価損	9,215	-
訴訟関連損失	3,250	-
リース解約損	-	2,020
貸倒引当金繰入額	-	134,425
特別損失合計	12,465	136,445
税引前四半期純利益	33,762	255,988
法人税、住民税及び事業税	36,361	2,314
法人税等調整額	△755	△82,892
法人税等合計	35,605	△80,577
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,843	336,566
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,843	336,566

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,843	336,566
四半期包括利益	△1,843	336,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,843	336,566
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて、前事業年度の有価証券報告書（追加情報）に記載しました仮定に重要な変更は現在ありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

第1四半期連結会計期間において、当社を吸収合併存続会社とし、当社の連結子会社である株式会社OneColorsを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、株式会社OneColorsを連結の範囲から除外しております。

また、第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったXERO株式会社の全株式を譲渡したことに伴い、連結の範囲から除外しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループはコンサルティング事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報に係る記載を省略しております。

（企業結合等関係）

（企業結合に係る暫定的な会計処理の確定）

2022年6月1日に行われた株式会社ウィルの株式取得による企業結合において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結会計期間の四半期財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額247百万円は、会計処理の確定により77百万円減少し、169百万円となっております。のれんの減少は、顧客関連資産が118百万円、繰延税金負債が40百万円増加したことによるものであります。

また、前連結会計年度末における顧客関連資産は115百万円、繰延税金負債は39百万円、利益剰余金は3百万円それぞれ増加し、のれんは72百万円減少しております。

## （重要な後発事象）

（株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更）

当社は、2023年6月19日開催の取締役会において以下のとおり決議し、株式分割および定款の一部変更を行っております。

## 1. 株式分割

## （1）株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

## （2）株式分割の概要

## ①分割の方法

2023年7月20日（木曜日）最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたします。

## ②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	4,868,100株
今回の分割により増加する株式数	4,868,100株
株式分割後の発行済株式総数	9,736,200株
株式分割後の発行可能株式総数	31,488,000株

## （3）日程

基準日公告日	2023年7月5日
基準日	2023年7月20日
効力発生日	2023年7月21日

## （4）新株予約権の行使価額の調整

株式分割に伴い、当社発行の新株予約権1株あたりの行使価額を2023年7月21日以降、以下のとおり調整いたします。

新株予約権（発行決議日）	調整前行使価額	調整後行使価額
第4回新株予約権（2020年3月30日）	660円	330円
第5回新株予約権（2021年9月7日）	883円	442円
第6回新株予約権（2022年3月9日）	423円	212円
第7回新株予約権（2022年10月7日）	774円	387円

## 2. 株式分割に伴う定款の一部変更について

## （1）変更の理由

上記の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2023年7月21日を効力発生日として、当社定款の一部を変更いたします。

## （2）定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりです。

現行定款	変更案
（発行可能株式総数） 第6条 当社の発行済株式総数は、1,574万4,000株とする。	（発行可能株式総数） 第6条 当社の発行済株式総数は、3,148万8,000株とする。

## 3. その他

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

## （資金の借入）

当社は、2023年7月19日開催の取締役会決議において、資金の借入について決議を行い、借入を実行しております。詳細は、以下のとおりとなります。

用途	運転資金
借入先	株式会社中京銀行
借入金額	500,000千円
借入実行日	2023年7月31日
返済期限	2028年7月31日
担保の有無	無
保証の有無	無

（資本金の額の減少）

当社は、2023年7月19日開催の取締役会において、臨時株主総会招集のための基準日設定について決議するとともに、2023年8月3日開催の取締役会において、2023年9月29日開催予定の臨時株主総会に「資本金の額の減少の件」を付議することを決議いたしました。

1. 資本金の額の減少の目的

今後の資本政策の柔軟性および機動性を確保することを目的として、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるものであります。

2. 資本金の額の減少の内容

（1）減少すべき資本金の額

資本金の額145,869,950円を95,869,950円減少して、50,000,000円といたします。

なお、当社が発行している新株予約権が、減資の効力発生日までに行使された場合、当該権利行使に伴う株式発行により増加する資本金の額と同額分減少することにより、最終的な資本金の額を50,000,000円とすることいたします。

（2）減資の方法

払戻を行わない無償減資とし、発行済株式総数を変更することなく、資本金の額を減少するものです。減少する資本金の額の全部をその他資本剰余金に振り替えるものであります。

（3）減資の日程

取締役会決議日	2023年8月3日
債権者異議申述公告日	2023年8月21日
債権者異議申述最終期日	2023年9月21日
臨時株主総会決議日	2023年9月29日
減資の効力発生日	2023年9月29日